

マザー・テレサの列聖を記念して、日本中を多くの愛で包んだ、あの映画祭が帰ってきます。彼女の愛に満ちた活動の軌跡を一挙上映。

愛は、永遠に――

大切なのは私たちが何をするのかではなく
どれだけの愛をその行いにこめるかです
小さなことも大きな愛をもって

――マザー・テレサの言葉より

特別企画
言葉の贈り物～
マザー・テレサからあなたへ

片柳弘史神父監修の
本映画祭でしか見られない
特別スライドショー
上映決定

Photo
女子パウロ会

列聖記念

マザー・テレサ 映画祭

上映作品:「素晴らしいことを神さまのために」(特別上映)「マザー・テレサとその世界」「マザー・テレサの祈り 生命それは愛」
「母なることの由来―デジタル復刻版―」「マザー・テレサの遺言」「母なるひとの言葉」「マザー・テレサと生きる」

www.motherteresa.co.jp  <https://www.facebook.com/mtfilmfes>

提供:女子パウロ会 企画協力:株式会社フィールドワークス 配給:東風 後援:カトリック中央協議会広報 カトリック新聞社 カトリック東京大司教区 駐日ローマ法王庁大使館 キリスト新聞社

マザーが教えてくれる— 愛すること、生きること



ひとは誰も、愛し、愛されるため生まれてきます

許すには、たくさんの愛が必要です

許しを請うには、さらに謙虚さが必要です

——マザー・テレサの言葉より

宗教や人種をこえて、貧しい人々のために生きたマザー・テレサ。1979年にはノーベル平和賞を受賞。1997年に惜しまれながら亡くなるまで、彼女はその行いによって「愛」とは何かを世界中に示し続けました。彼女が設立した「神の愛の宣教会」は135の国と地域に広がり、今なお多くの人々が彼女の精神を引き継ぎ活動しています。そして2016年3月、バチカン(ローマ法王庁)はマザーを、ローマ・カトリック教会で最高位の崇敬対象となる「聖人」に認定しました。式典(列聖式)は9月4日、マザーの命日(9月5日)の前日に執り行われます。2010年に開催された「生誕100年記念 マザー・テレサ映画祭」。彼女の奇跡ともいえる活動を記録した、国内外の珠玉のドキュメンタリー全7本を一挙上映した映画祭は、東京都写真美術館ホールの総動員数歴代1位を更新し、映画を通じて多くの方がマザー・テレサの精神に触れました。

強く、美しく、優しさに満ちたマザーの姿、そして彼女が残した数々の言葉。その輝きは色あせることなく、不寛容な現代を生きる私たちに大切なことを教えてくれます。

A プログラム マザー・テレサと生きる

[2009年/16.9/日本/73分] 文部科学省選定 カトリック中央協議会推薦
監督:千葉茂樹 企画・製作:女子パウロ会 製作協力:近代映画協会 語り:山根基世(ことばの杜)
千葉茂樹監督による「生誕100年」特別記念作品。マザーが深くこころにとめ、3度も訪れた日本では、どのようにその精神が受け継がれているのか?彼女の後継者シスター・ニルマラ総長(当時)の特別許可のもと、今も続く愛に満ちた活動に初めてカメラが向けられる。

B プログラム マザー・テレサとその世界

[1979年/4.3/日本/55分] 文部省選定
監督:千葉茂樹 企画・製作:小島好美(近代映画協会)、白井詔子(女子パウロ会) ナレーター:来宮良子
千葉茂樹監督が日本人として初めてマザー取材。「貧しい人とともに生きるきびしい生活を選ぶのはなぜか?」……。映画は疑問を投げかけながら、マザーと仲間たちの清貧な日々、多岐にわたる活動を、マザーの力強い言葉とともに記録する。公開時大反響を呼んだ名作。

B プログラム マザー・テレサの祈り 生命それは愛

[1981年/4.3/日本/30分]
監督:千葉茂樹 企画:ファミリー・ライフ協会、女子パウロ会 製作:近代映画協会 ナレーター:洋田今日子
マザーがはじめて日本を訪れた1981年4月、その愛に満ちた7日間を映し出す。秒刻みともいえる日程をエネルギーにこなしながら、わずかな隙間を見つけては、最も貧しい人々に会いに行き、多くの日本人とふれあっていく。

C プログラム 母なることの由来 —デジタル復刻版—

[1986年/4.3/アメリカ/83分] 企画協力:フィールドワークス [日本語字幕]
製作:監督:アン・ベトリ、ジャネット・ベトリ 撮影:エド・ラッハマン、サンディ・シセル ナレーション:リチャード・アッテンボロ
TVプロデューサーだったベトリ姉妹が、コルカタ、レバノン、NYなど10カ国に及ぶマザーの活動に5年間同行し取材・撮影。82年夏、戦禍渦巻くベイルートで、マザーが周囲を説得して病院に取り残された子供達を救出しに向かう映像や、ハーバード大学でのスピーチなど貴重な記録を取る。88年に日本公開され話題となった名作。

D プログラム 母なるひとの言葉

[2004年/4.3/アメリカ/55分] 企画協力:フィールドワークス [日本語字幕]
製作:監督:アン・ベトリ、ジャネット・ベトリ 撮影:エド・ラッハマン、サンディ・シセル 音楽:スザンヌ・シアーン
生前のマザー本人のインタビュー、そして1997年の盛大な国葬の模様を収録。そして、彼女を看取った修道女たちが語る死を間近にした彼女の最後の行動や言葉。観る者に「愛のひと」がこの世にいたことの奇跡を強く感じさせる。

E プログラム マザー・テレサの遺言

[1996年/4.3/ドイツ/43分]
監督:マーセル・パウアー インタビュー:オメル・ダング 撮影:ブラモド・マチュー、A・カマル
マザー・テレサが亡くなる前年に制作された愛と実践とインタビューの記録。宗教や人種を越えて世界中の人々に贈るメッセージを、時にユーモアを交えながら、迫力ある声と人間味あふれる笑顔で話すマザー。その存在感は、晩年であってもやはり圧倒的。1990年代につくられた希少な作品。

F プログラム 素晴らしいことを神さまのために 特別上映作品 ~Something Beautiful For God~

※本映画祭のチケットの半券提示で、当日ご希望の方を先着順で受付いたします。
[1969年/4.3/イギリス/50分] 企画協力:フィールドワークス [日本語字幕]
製作:監督:ピーター・シェファー インタビュー:マーコム・マゲリッジ
1969年BBCで放送され、マザー・テレサのコルカタ(カルカッタ)での活動に密着し、全世界にその全貌を知らしめた記念碑的なドキュメンタリー。最初は客観的な距離を保つインタビューだったが、マザーの活動に感銘を受け、のちにカトリック教徒となっている。

特別企画 言葉の贈り物~マザー・テレサからあなたへ

コルカタでボランティア活動に従事し、マザー・テレサの勧めで司祭の道に進まれた片柳弘史神父。現在は山口県でカトリック宇部教区主任司祭、幼稚園講師、刑務所教諭として働いておられます。片柳神父ご本人がコルカタで撮影されたマザーの写真と選りすぐりのマザーの言葉を、映画本編の上映前にスライドショーでご紹介します。
(※本編をご覧になる方のみ、すべての映画上映前にスライドショーをご鑑賞頂きます。)

4月1日(土)より一週間限定開催

タイムテーブル	09:30~	11:15~
4月1日(土)	B	A
4月2日(日)	C	D
4月3日(月)	B	E
4月4日(火)	C	A
4月5日(水)	B	D
4月6日(木)	C	E
4月7日(金)	A	F

シネマ
横浜ジャック&ベティ
www.jackandbetty.net

横浜市中区若葉町3-51
京浜急行黄金町駅5分
市営地下鉄 阪東橋駅5分
電話 045-243-9800

【料金】一般1300円 | 学生・シニア1100円 | 高校生以下1000円
※リピーター割(本映画祭のチケットの半券提示)1100円(全て税込)

